

付録Ⅻ 平成二十六年 川越春祭り 居合道祖終焉之地 - 蓮馨寺第一回居合道奉納演武会



関口流 米原龜生十五代宗家



田宮流 友木達夫流儀代表



伯耆流 久世孝志師範



目崎其助重信先生を偲ぶ会



古澤阿竹斎師範



田中泰一師範



無雙直傳英信流



佐藤上津師範



無外流居合兵法



英信流



関口流抜刀術

居合抜刀始祖 林崎夢想流祖 林崎其助重信 略伝 天文11年正月出羽橋岡在林崎に生まれる。幼名を民治丸といひ、父浅野数馬重治、元足利將軍の家臣幕閣の要職にあつた。由有り奥州に旅立ち橋岡城主最上豊前守の家臣となり文武に秀いで多に活躍す。天文16年11月雪降る中、山形霞城主最上義守候の家臣坂上主膳の夜襲により絶命する。時に民治丸6才であつた。弘治2年民治丸母子意を決し、林崎大明神に父 無念仇討宿願と千日の願を掛け修練続く満願の夜社前に於て仮眠する民治丸の夢枕に林崎大明神示現千變万化の法を具現、長柄の刀法に称有り。伝統遂に絶妙に達する居合抜刀の刀法を翻然自悟する。永禄2年吉月元服名を林崎其助重信と改める。永禄4年父の仇討本懐を京で遂げり。文禄4年5月10日より慶長3年9月15日まで7年間武州一ノ宮(今の大宮)に居住す。元和2年2月28日より翌年7月20日まで武州川越の塙高松勘兵衛の所に滞在し東奥に旅立つ。途中に於て病死す。時に73歳。享保元年7月30日命没後98年日川越蓮馨寺にて仮葬儀をしていたものを大々的に法要を営み墓所を建立する。高松勘兵衛信勝の曾孫(一の宮流興幸四郎権主)